

未来は まかせて!! 9/14

地域子育て
フォーラム
2024

—こどもの命と主体を育む

—協同の子育ちを考える—

会場：ワーカーズコープ池袋本部8F
(ハイブリット方式)
参加費無料

(SAT) 14
10:00~16:15

基調講演

「子どもの主体を育む —世界を変える子どもたち—」

世田谷区立桜丘中学校 元校長 西郷 孝彦さん



1954年横浜生まれ。幼少期から、横浜山手や米軍基地の異国の文化に触れながら育つ。上智大学理工学部を卒業後、1979年より都立の養護学校（現：特別支援学校）をはじめ、大田区や品川区、世田谷区で数学と理科の教員、教頭・副校長を歴任。2010年より10年間世田谷区立桜丘中学校長に就任し、インクルーシブ教育を学校経営の中心に据え、校則や定期テスト等の廃止、ICTの活用、個性を伸ばす教育を推進した。2020年3月退職。NHK「ノーマレ」ほか出演多数。近著に『校則なくした中学校 たったひとつの校長ルール』『「過干渉」をやめたら子供は伸びる』（ともに小学館）がある。

地域子育てフォーラム2024 開催主旨

子どもを巡る問題は深刻さを増しており、不登校は30万人、虐待件数は20万件を超え、小中高生の自殺も500人を超えています。また、ウクライナ侵攻、イスラエル×パレスチナと戦は止まず、何より気候変動がもたらす深刻な事態は地球規模で起こり、全ての命が脅かされています。いま開かれている歴史のページには危機の時代と標題がつけられ、単純に「子どもは未来・希望」と言い切れない状況が広がっています。2022年10月に施行された労働者協同組合法は地域づくりを第一目的に掲げ、関わる人の主体性を育む協同労働の働き方は、市民の民主的な地域づくりを後押しします。それは子どもたちのために立ち上がろうとする人たちの参加を促し、子ども自らが育つ権利に基づく「こどもまんなか」社会の実現に向かう事になるでしょう。当事者である子どもの意見を、当事者だった大人が受け止め、共に生き共に育ちあうことから未来につながる地域づくりが始まる事でしょう。協同の力が新しい歴史のページをめくることを願い、そのきっかけとなる集会へのご参加を呼びかけます。

お問い合わせ

ワーカーズコープ連合会 統合本部・事業推進本部（担当：守屋）
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-44-3 池袋 ISP タマビル 7階 電話：03-6907-8032

Time Table

10:00 開会挨拶 ワークスコープ・センター事業団
子ども・子育てケア PJ 担当役員 馬場 幹夫さん

10:10 基調講演
「子どもの主体を育む
—世界を変える子どもたち—」
世田谷区立桜丘中学校 元校長 西郷 孝彦さん

11:40 昼食休憩

12:40 基調提起 子ども・子育てケア PJ 星平 順子さん

13:00 座談会「いのちを育む」
ファシリテーター：ワークスコープ連合会理事長 古村 伸宏さん
NPO 法人 SINCE (フリースクール) 麻生 知宏さん
みんなの BASE (中高生の居場所) 瀬戸 理音さん
無門福祉会 (農福連携自然栽培) 磯部 竜太さん

15:00 休憩

15:15 「子どもたちの声を聴こう」

16:00 閉会挨拶 ワークスコープ・センター事業団
副理事長 藤田 徹さん

16:15 終了

Location



会場

〒170-0013
東京都豊島区東池袋 1-44-3
池袋 ISP タマビル8階



池袋 ISP タマビル外観

お申し込みは
こちらから



地域子育て

参加費無料